

Title	北原勇教授略歴・著作目録
Sub Title	Chronology and bibliography of the writings of Professor Isamu Kitahara
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1996
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.88, No.4 (1996. 1) ,p.639(137)- 642(140)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19960101-0137

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

北原 勇 教授 略歴・著作目録

1995年12月1日現在

略 歴

- 1931年1月 東京府巢鴨町に生まれる。
1948年4月 慶應義塾大学経済学部予科へ入学
1949年4月 (学制改革により)慶應義塾大学経済学部(新制)1年へ進学
1953年3月 慶應義塾大学経済学部卒業
1955年3月 慶應義塾大学大学院経済学研究科修士課程修了
1959年3月 同上 博士課程単位取得退学
1979年10月 経済学博士の学位を取得(慶應義塾大学 第577号)

職 歴

- 1956年4月～ 慶應義塾大学経済学部副手
1959年4月～ 慶應義塾大学経済学部助手
1962年4月～ 慶應義塾大学経済学部専任講師
1964年4月～ 慶應義塾大学経済学部助教授
1972年4月～現在 慶應義塾大学経済学部教授；(兼)慶應義塾大学大学院経済学研究科委員
1994年7月～現在 日本学術会議第16期会員
(他大学講師歴)
1976年度後期 一橋大学大学院経済学研究科
1977年度後期 名古屋大学大学院経済学研究科
1978年度前期 横浜国立大学経済学部
1979年度前期 北海道大学大学院経済学研究科
1980年度後期 東京大学経済学部
1989年度 東京女子大学文理学部

学 会 関 係

- 所属学会 経済理論学会, 土地制度史学会, 国際経済学会, 日本中小企業学会。
所属した学会 日本経済政策学会, 社会政策学会。
1971年4月～現在 経済理論学会幹事

著 書

- 『独占資本主義の理論』(有斐閣, 1977年)
『독점자본주의론』(『独占資本主義の理論』のハングル版, 金在勳訳・四季出版 1984年)
『現代資本主義における所有と決定』(岩波書店, 1984年)

共 編 著

- 常盤政治・井村喜代子・北原勇・飯田裕康『経済原論』（有斐閣，1980年）
経済理論学会有志・北原勇他編『湾岸戦争を問う』（勁草出版サービスセンター，1991年）
本間要一郎・北原勇・鶴田満彦編『資本論体系（10）現代資本主義と資本論体系』（有斐閣，1996年刊行予定）

共 著

- 慶應義塾経済学会編『日本における経済学の百年 下巻』（日本評論社，1959年）
小林義雄・伊東岱吉他編『講座 中小企業 第2巻』（有斐閣，1960年）
伊東岱吉・小林義雄・加藤誠一編『工業経済論』（有斐閣，1968年）
エコノミスト編集部編『戦後日本経済研究の成果と展望』（毎日新聞社，1970年）
島恭彦他編『新マルクス経済学講座3 帝国主義と現代』（有斐閣，1972年）
富塚良三編『経済分析入門——理論・学史・経済史——』（有斐閣，1972年）
加藤陸夫・古川哲他編『現代資本主義と国家』（有斐閣，1976年）
富塚良三他編『資本論体系（3） 剰余価値、資本蓄積』（有斐閣，1985年）

専 門 論 文

- 1955年 「民族資本の諸問題（上）」（伊東岱吉氏らとの共同ペンネーム＝高原吉太郎の名による連載『日本資本主義講座』批判の④、『エコノミスト』1月29日号）
「民族資本の諸問題（下）」（同上⑤、『エコノミスト』2月5日号）
『中小企業問題——本質把握への一試論』（修士論文，未公刊，ただし慶應義塾大学図書館にて閲覧可能）
- 1957年 「資本の集積・集中と分裂・分散——中小工業論序説」（『三田学会雑誌』50巻7号）
- 1958年 「集積・集中と独占——独占資本主義研究——」（『三田学会雑誌』51巻5号）
- 1959年 「独占と競争（一）——産業資本主義段階——」（『三田学会雑誌』52巻1号）
「戦時経済下の中小工業論」（慶應義塾経済学会編『日本における経済学の百年（下）』日本評論社）
- 1960年 「資本蓄積運動における中小企業」（小林義雄・伊東岱吉他編『講座 中小企業 第2巻』有斐閣）
「中小資本の発展と中小企業労働問題」（『経済評論』1960年10月号）
- 1961年 「わが国工業の構造的特質といわゆる“企業規模別貸金格差”」（井村喜代子と共同執筆）（社会政策学会編『労働市場と貸金』有斐閣）
- 1962年 「市場構造と価格支配——独占価格論序説——」（慶應義塾『経済学年報』5号）
- 1963年 「独占価格に関する1考察」（一橋大学『経済研究』14巻4号）
「独占・寡占下の価格設定と価格の運動——独占価格研究第2編——」（『三田学会雑誌』56巻11号）
- 1964年 「寡占企業間協調の基本的問題点——独占価格研究第二篇 独占・寡占下の価格設定と価格の運動（2）——」（『三田学会雑誌』57巻3号）
「日本資本主義の再生産構造分析試論——昭和35年『産業連関表』を手がかりとして——（一）」（井村喜代子と共同執筆）（『三田学会雑誌』57巻12号）
- 1965年 「日本資本主義の再生産構造分析試論——昭和35年『産業連関表』を手がかりとして——（二）～（四）」（井村喜代子と共同執筆）（『三田学会雑誌』58巻7号，同9号，同10号）

- 1966年 「独占価格論研究の現状と方向」(『経済評論』1966年5月号)
「日本資本主義の再生産構造分析試論II — 昭和30年以降の拡大再生産過程 — (1) ~ (2)」
(井村喜代子と共同執筆)(『三田学会雑誌』59巻6号, 同10号)
- 1967年 「日本資本主義の再生産構造分析試論II — 昭和30年以降の拡大再生産過程 — (3) ~ (5)」(井
村喜代子と共同執筆)(『三田学会雑誌』60巻5号, 同7号, 同8号)
「高度成長過程における再生産構造(上)(下)」(井村喜代子と共同執筆)(『経済評論』1967年
9月号, 10月号)
- 1968年 「生産力の発展と産業構成の変化」(伊東岱吉他編『工業経済論』有斐閣)
「独占価格・独占利潤」(同上書)
- 1969年 「競争段階・独占段階における生産力の発展 — 技術進歩を中心として —」(慶應義塾『経済
学年報』12号)
「寡占企業の投資行動 — 独占資本主義段階における資本蓄積(1) —」(『三田学会雑誌』62巻
6号)
- 1970年 「独占と『産業構造』」(エコノミスト編集部編『戦後日本経済研究の成果と展望』毎日新聞社)
「独占段階における停滞傾向 — 独占資本主義段階における資本蓄積(2) —」(『三田学会雑
誌』63巻6号)
「新部門形成と拡大再生産の進展 — 独占資本主義段階における資本蓄積(3) —」(『三田学会
雑誌』63巻10号)
- 1971年 「『販売努力』と再生産 — 独占資本主義段階における資本蓄積(4) —」(『三田学会雑誌』64
巻5号)
- 1972年 「独占体の市場支配と管理価格政策」(島恭彦他編『新マルクス経済学講座3 帝国主義と現代』
有斐閣)
「現代資本主義の構造と動態(1) — 寡占的的巨大企業の価格管理と投資行動 —」(富塚良三編
『経済分析入門』有斐閣)
「独占資本主義の対外膨張と資本蓄積(上)」(『三田学会雑誌』65巻8号)
- 1973年 「独占資本主義の対外膨張と資本蓄積(下)」(『三田学会雑誌』66巻5号)
- 1974年 「独占資本主義における諸矛盾の編成と展開 — 独占資本主義論総括 —」(『三田学会雑誌』
67巻10号)
- 1976年 「独占資本主義論と国家独占資本主義論 — 国家独占資本主義論の課題と方法 —」(加藤睦
夫・古川哲他編『現代資本主義と国家』有斐閣)
- 1977年 「『独占資本主義の理論』と宇野経済学」(『書齋の窓』263号, 有斐閣)
- 1978年 「現代資本主義分析の課題と方法」(『経済セミナー・増刊・マルクス経済学のすべて』日本評
論社)
「『独占資本主義の理論』と宇野経済学 — 伊藤誠氏の『反論』にこたえて —」(『三田学会雑
誌』71巻5号)
- 1980年 「巨大企業における『所有と支配』(一橋大学『経済研究』31巻4号)
OWNERSHIP AND CONTROL IN THE LARGE CORPORATION (KEIO ECONOMIC
STUDIES, Vol. 17, No.2)
- 1981年 「資本制個人企業における所有と決定 — 現代巨大会社論のための理論基準(1) —」(『三田学
会雑誌』74巻3号)
「株式会社における所有と決定 — 現代巨大会社論のための理論基準(2) —」(『三田学会雑

- 誌] 74巻5号)
- 1982年 「巨大企業における所有と決定」(『三田学会雑誌』75巻2号)
「企業集団における所有と決定(上)」(『三田学会雑誌』75巻4号)
「企業集団における所有と決定(下)」(『三田学会雑誌』75巻5号)
- 1983年 「我が国巨大企業における『所有と決定』の特徴——株式持合いの構造と意義——」(『三田学会雑誌』76巻1号)
- 1985年 「現代資本主義における相対的過剰人口問題と『完全雇用』政策」(井村喜代子と共同執筆)
(『資本論体系(3) 剰余価値・資本蓄積』有斐閣)
- 1986年 「『会社それ自体』による所有と支配——マネジメント・コントロールの本質——」(経済理論学会年報・第23集『現代巨大企業の所有と支配』青木書店)
「『会社それ自体』による所有と支配」(『証券経済学会年報・第21号』)
- 1991年 「湾岸戦争と『新世界秩序』」(井村喜代子と共同執筆)(経済理論学会有志『湾岸戦争を問う』勁草出版サービスセンター)
- 1994年 「20世紀末の資本主義」(『三田学会雑誌』87巻2号)

書評・書評論文

- 1955年 社会政策学会編『賃労働における封建性』(『三田学会雑誌』48巻10号)
- 1956年 ジョセフ・スタインドル著 米田清貴・加藤誠一訳『小企業と大企業』(『日本読書新聞』854号)
- 1956年 内田穰吉編『日本の生産地帯』(ペンネーム『K』による、『図書新聞』361号)
- 1958年 Werner Kalweit ; Über die Ursachen der Preissteigerungen im modernen Kapitalismus, ヴェルナ・カルヴァイト著『現代資本主義における物価騰貴の諸原因について』(『三田学会雑誌』51巻11号)
- 1959年 「英国六産業における企業合併の諸効果—— P. L. Cook and R. Cohen ; Effects of Mergers」(『三田学会雑誌』52巻7号)
- 1960年 巽 信晴著『独占段階における中小企業の研究』(『三田学会雑誌』53巻9号)
- 1970年 J. S. ペイン著・宮沢健一訳『産業組織論(上)』(『エコノミスト』6月16日号)
- 1988年 J. B. フォスター著・鶴田満彦監訳『独占資本主義の理論』(『エコノミスト』12月27日号)

口頭発表

- 1957年5月 「資本の集積・集中と分裂・分散」(日本経済政策学会大会 自由論題)
- 1959年11月 「戦後の日本工業における賃金格差をめぐる若干の問題」(井村喜代子との共同報告, 社会政策学会 第20回大会 共通論題)
- 1961年11月 「市場構造と価格支配」(経済理論学会 第5回大会 共通論題)
- 1985年10月 「『会社それ自体』による所有と支配」(経済理論学会 第33回大会 共通論題)
- 1985年11月 「『会社それ自体』による所有と支配」(証券経済学会 第24回大会 共通論題)
- 1989年4月 「『資本論』研究と現代資本主義」(横浜国立大学経済学部シンポジウム「故 佐藤金三郎教授の『資本論』研究をめぐって」)
- 1993年11月 「20世紀末の資本主義——開題」(慶應義塾経済学会コンファレンス「20世紀末の資本主義」)
- 1995年11月 「現代資本主義分析の方法と課題——〈冷戦下・国家独占資本主義〉とその解体・再編——」(経済理論学会 第43回大会 共通論題)